

KIIFA Report

河内長野市国際交流協会

96

Jan. 2016



- 新年のごあいさつ
- カーメル国際アートフェスティバル
- サン・ファン・デ・レトラン学院
- ホワイトホースシアター公演
- フローレス・デュオ チャリティー・コンサート
- 日本語ボランティア講座
- Haunted Game in English
- ネパール大地震被災者支援
- コンニチハ！日本語サロンです



2016 あけましておめでとうございます

HAPPY NEW YEAR!



皆様には、よき新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は、協会活動にご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

さて、新しい年を迎え、皆様には、どんな抱負をお持ちでしょうか。

私たちの住む河内長野は、在住外国人数が少ない市とされていますが、ここから電車で30分ほどの難波や心齋橋を歩いていると、様々な国からの大勢の外国人観光客でにぎわい、まるで異国にいるようにさえ感じます。日本政府観光局の調べによりますと、昨年1～10月の訪日外国人数は、過去最高だった前年の年間記録を290万人上回る1,631万人に達したということです。ボーダレス化は急ピッチで進んでおり、その影響は、当協会活動にも見られ、昨年のある曜日の日本語サロン学習者参加延べ人数は、上半期でほぼ前年度数に達しました。

このように日本を訪問される、地域に新しく住まわれる外国人の方々が多くなるにつれ、当協会の担う役割は今後ますます重要になって来ると確信いたしております。市民の方々と外国人の方々がお互いの文化の違いを知り、認め合う「地域共生」活動を軸にしながらも、今まで海外の国々に関心をお持ちでなかった方でも気軽に「国際交流」活動に足を運んでいただけるよう裾野を広げることが出来ればと思っております。

今年も当協会の会員の皆さまの活動が、国際化が進んだ河内長野の街づくりに貢献できることを願い、新年の抱負としたいと思います。

河内長野市国際交流協会 会長 山本 明彦



新年あけましておめでとうございます。

河内長野市国際交流協会会員の皆様には、清々しい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

皆様には、姉妹都市でありますカーメル市との交流をはじめ、市内在住の外国人との日本語サロンや、ホームステイのボランティアなど、様々な形で交流の輪を広げていただいておりますことに、心から厚く感謝申し上げます。

また、国籍や民族などの異なる人々が、お互いの文化的差異を認め合い、対等な関係を築きながら、地域社会の構成員として共に生きていくことができる多文化共生の推進に、引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶と致します。

本年もどうぞよろしくお願い致します。

河内長野市長 芝田 啓治



河内長野市とインディアナ州カーメル市が姉妹都市になってから21年があっという間に過ぎました。そしてまた皆さまに21年前に抱いたのと同じ深い尊敬と愛情の念と共に、新年のお祝いの言葉を贈る季節になりました。

りました。

2015年にはカーメルに河内長野から3名のアーティストをお迎えしてカーメル国際アートフェスティバルにご参加いただきました。これは2日間にわたって行われる屋外でのお祭りで、何百という選ばれたアーティストが、才能に満ちあふれた作品を展示し販売します。会場には世界中から何千もの人々が訪れます。河内長野からのアーティストの方たちにホームステイで滞在いただく時はいつも思うのですが、ほんの少しの友情や思いやり、尊敬の念を示す事で、どれだけ人々の絆が強まるかを感じずにはられません。互いへの感謝の気持ちで世界が広がります。私たちの日々の暮らしへの一服の清涼剤をありがとう！2016年も実り多き友情に恵まれますように。皆さまの平安と繁栄とご健康を祈りつつ、新年おめでとうございます！

カーメル市姉妹都市委員会 会長 バーバラ・モジャー

カーメル国際アートフェスティバルに参加して



昨年9月26、27日に米国インディアナ州カーメル市で毎年恒例の国際アートフェスティバルが開催されました。KIFAから3名の方が参加し、日本文化の紹介と自作品の販売を行いました。お寄せいただいた原稿から抜粋して当日の様子をお伝えします。(全文は当協会ホームページに掲載しております)

フェスティバル当日、私たち3人に与えられたテント内に河内長野市の小学生の絵が展示され、その隣に私の作品のタペストリーや色紙、短冊などを展示し、テーブルには絵の小さな額や和布で作った雛人形やブローチ、巾着などの小物を展示しました。一番人気は手染めの布に手描きしたストールでした。アメリカ女性も身に着けるものや小物がお好きなようです。このフェスティバルでも姉妹都市委員会のメンバーが交代で販売のお手伝いをしてくださいました。テント前の通りを真紅やブルー、黄色など色鮮やかなドレスで着飾った、ブロンドの髪に抜けるように白い肌の高校生や、お人形のように可愛い子ども連れの家族が行き交って賑やかです。通りの両側にずらっと並んだアーティストのテントでは、素晴らしい絵画や陶芸、木彫などの魅力的な作品がたくさん展示販売されています。今回のフェスティバルの盛況ぶりは過去最高ということでした。この2日間、お手伝いしてくださった皆さんに、感謝の気持ちとしてお気に入りのブローチを選んでもらいプレゼントしました。

石田 雄美子 (和風小物)



テント内に
展示された
河内長野の
子どもの作品

私の作品は中々売れなくて他のアーティストのものが売れていくのを見て焦りがありました。最初にご覧いただいた時は本当に嬉しくて少し泣いたのは今でも忘れません。でも売れ行きは良くなかったけれどご覧いただいた人もいたので、私の作品も良かったのだなと前向きに考えるようになりました。私は今回作品を売ることはもちろんですが色々な人と話しコミュニケーションもとれたかったので、たどたどしい英語でしたが喋れてよかったです。改めて自分は海外と書道が好きだなあと実感しました。この1週間はあっという間でしたが私にとって色々勉強になりました。もっともっとアメリカに滞在したかったです。帰り際に寂しくて泣いてしまいました。悔し泣き、嬉し泣き、悲し泣きと泣いてばかりでしたがそれぐらい今回はとてもいい1週間でした。私は将来、移住して少しでも多くの人に書道を知ってもらえるよう、パフォーマンスをしたり教室を開きたいとおもっています。今は勉強することがいっぱいですが、いつか必ず実現させたいと思っています。

中山 由梨 (書道)



25日はいよいよフェスティバルの準備です。「足りないものはないか?」と尋ねて下さったホストファミリーのマイヤーズさんは、展示する「うちわ」を立てるために、持ち手の大きさに合わせてくり抜いた木製の板を用意してくださいました。短時間なのに丁寧な手作りで感激しました。

当日の26日、私たちのテントはフェスティバルの中心付近に設置されていました。河内長野市の子供たちの絵もテント内に掲示されていて、明るい雰囲気一杯でした。大勢の人たちが楽しみながら立寄って行き、早口の英語が飛び交い、日米婦人会の女性が通訳をして何とか売上げました。石田さんの和風小物が人気でストールなど完売し、「来た甲斐があった」と喜んでおられました。カーメル市長も来られ、さらに盛り上がりました。他のブースは絵画やアクセサリーなど高価なものも多く、メイン通りを華やかにしていました。次の日も盛況であったという間の二日間でした。

白澤 桂子 (書道)



マイヤーズさんご夫妻と

フィリピン マニラからの楽しいお客様

コレヒオ デ サン ファン デ レトラン学院

Colegio de San Juan de Letran

平成24年度から始まった交流に、今回もフィリピンマニラ市内にあるコレヒオ・デ・サン・ファン・デ・レトラン学院から教員5名、学生9名が来日されました。今回は河内長野市文化連盟のご厚意により文化祭での和太鼓とのコラボが決まりこの時期になりました。一行は、全員がホームステイされ、それぞれ日本文化を体験し素晴らしい交流をされました。

11月4日：長野高校での学校訪問では、授業参観・ダンス・茶道体験・研修生との交流を楽しみました。

ウエルカムパーティでは、教育長、文化連盟会長、理事など多くのご来賓と、ホストファミリーの皆さんなど総勢80数名のご参加を頂き、西尾薫さんの歓迎の歌とレトラン学院学生の民族舞踊と副学長の素晴らしい歌声で、楽しいパーティでした。

11月5日：市長を表敬訪問し市役所最上階から市内風景を楽しみました。その後、南花台中学を訪問し楽しい交流をしました。

体育館で素晴らしい花のアーチに迎えられ、生徒の合唱から始まり、なぎなた・剣道・柔道・ダンス・バトンの紹介。生徒による、英語での河



内長野市の名所の紹介があり、レトラン学院側からはお国自慢をスライドで紹介し、民族ダンスを披露しました。最後には、オセロゲーム・縄とびなど、心を一つにして取り組み、自然体の交流を楽しみました。その後一行はくろまる資料館を訪問し「まがたま」のペンダントをそれぞれが制作し、世界に一つしかないアクセサリが完成しました。

11月6日：清教幼稚園を訪問、お遊戯室で英語の先生の司会で年長さんから、可愛いお歌のプレゼントがありました。また多くの



手上がり、どこから来たの・何色が好きですか・果物は何が好きですか・何歳ですかなどの質問もできました。年少さんも手を挙げてくれるのですが、自分の名前を言った

まま、恥ずかしいのか、なかなか声が出ませんが、その時の表情がとても可愛らしく和やかなひとときになりました。



清教学園では高校生の英語のクラスに参加し、メンバーが1人ずつグループに入り、会話を楽しみました。またチャペルでは、中学生のソーラン節の踊りとコーラス部の歌の披露がありました。フィリピンダンスのワークショップには多くの生徒さんたちが参加して楽しい時間を過ごしました。

11月8日：ラプリーホールで河南高校の和太鼓との交流プログラムに参加しました。双方の素晴らしい舞踊と太鼓の演奏の後、先生のご指導で、高校生と一緒に太鼓をたたきました。レトランの学生は、最初はこわごわたたいていましたが、そのうちにホールいっぱい力強い太鼓がひびきわたりました。



11月9日：大阪大谷大学は、一昨年、レトラン学院と姉妹校提携を結ばれ、ぜひ今回は学校交流をと申し出があり訪問いたしました。多くの大学生のお出迎えを頂き、映像を交えて学校紹介がありました。書道体験では大学生たちの、やさしい指導で素晴らしい「うちわ」が出来上がりました。そのあと食堂で若さあふれる演奏とダンスのおもてなしを受けました。

午後からは金剛寺で振袖を着て茶道体験をしました。6人の女性メンバーたちは大喜びで、紅葉のお庭をバックに写真を撮るのがうれしくていつまでも着物を着たいようでした。



11月10日：さよならパーティにホストファミリーの皆さんが参加され、レトラン学院の皆さんは感謝の言葉を涙ながらに発表し、それに対し「楽しかった」「また帰っておいで」とやさしく言っていただき、スタッフまで心熱くなりました。

一行の来日期間中、皆様には大変お世話になりました。ホストファミリーには自分の子供や昔からの友人のように大切におもてなし頂き、色々な経験の機会を作り、愛情を注いでいただきありがとうございました。

交流活動事業部 榊村 博子



あべのハルカスにて



道頓堀にて

★ホストファミリーとおでかけ★

ブリティッシュ・イングリッシュのひとつ

ホワイトホースシアター公演

10月5日 市民交流センター 大会議室



ホワイトホースシアターは、英語を学ぶ人たちのために出前で英語劇を届けてくれるプロの集団です。名前の由来は 1500 年前にアングロサクソン人がドイツから英国へと渡っていった時の旗印からとったそうです。またロゴとなっている白馬の図柄は、現在ホワイトホースシアターの本部のあるドイツのウェストファレンと英国のケント郡のシンボルだそうです。厳しいオーディションで選ばれ、演劇の勉強をした英国の若者が中心の劇団です。

10月の初めに、河内長野での初めての公演のために2人の俳優がやってきました。大きなバンに舞台装置や衣装を積んで



います。公演前日には、俳優のジョンさんとサミーさんに和服体験をしていただきました。しばらくして、船場の若旦那風のいでたちと金髪のいとはんができあがりました。お互いの姿に盛り上がったふたりは、写真を撮ったりビデオを撮ったりとご満悦の様子でした。

公演当日、市民交流センターの大会議室は、積み降ろされた舞台

装置や音響機器で、瞬間に小さな劇場に早変わりです。

当日の演目は The Princess and the Soldier。演じるのは2人ですが、衣装を変えてひとりが役もこなします。舞台だけではなく客席も巻き込みながら演技をするので、観客も劇の内容にどんどん引き込まれていきます。小さな子供たちから高校生、大人までが英語のシャワーの中で過ごしたひと時でした。さすがに訓練されたプロの俳優で、英語だけでなく身振り手振りや表情が豊かで、観客はいつの間にか劇の世界にひたっていました。

劇が終わった後、観客席の子供たちから英語での質問が飛び交い、当市での初めての公演は、わくわくする楽しさの中に幕となりました。将来は、ぜひ、より多くの子供たちに体験して欲しいと思いました。



フローレス・デュオ チャリティー・コンサート

11月14日 ラブリーホール

河内長野東ロータリークラブ主催、NPO法人南河内子ども応援団共催の第10回市民「歌・踊・奏」フェスティバル第2部として、ペルー出身の音楽家で兄弟のフローレス・デュオチャリティー・コンサートを開催しました。彼らは長年日本で音楽活動を続けながら、遥か遠くペルーで難病や障がいと闘って一生懸命生きている子どもたちの支援活動を行っています。ラブリーホールの大ホールで彼らの素晴らしい歌声が響き、そのハーモニーやケーナ、チャランゴ、サンポーニャ、カホン、ギター等の音色で心を躍らせてくれ、和ませてくれました。会



場のみなさんと一緒に手や足を鳴らして歌ったり、有名な「コンドルは飛んでゆく」では尺八バージョンを披露したり、参加者のノリに合わせて、プログラムに予定

されていなかった曲を何曲も演奏してくださいました。

当日は市内で多くのイベントが開催されていたため、残念ながら参加者は多くありませんでしたが、趣旨に賛同して下さったみなさんに心温まるご支援をいただき本当にありがとうございました。集まった募金52,751円はコンサート終了後お二人に託しました。12月6日に大阪市内で開催されたイベントで集まった募金と合わせて、ペルーのクスコにあるサン・ファン・デ・ディオスクリニック養護施設に届けられます。



★フローレス・デュオのホームページ

<http://www9.plala.or.jp/amauta/index.html>

10月17日(土)から5回に亘って第15回日本語ボランティア講座が開催されました。この講座は、日本語ボランティアに興味を持たれている方の入門および、すでに活動されている方のブラッシュアップを目的とした講座です。基調講演を含む最初の3回は(財)海外産業人材育成協会関西研修センター日本語講師の澤田幸子先生に、後半の2回は(財)海外技術者研修協会日本語講師の矢谷久美子先生にお話をいただきました。今回の参加者の殆どは日本語ボランティアの未経験者でしたが、先生のお話を興味深く聞いておられました。



外国人の方に日本語を教える「日本語サロン」で活動されている方から実際に活動をされて経験されたことや感想をお寄せいただいています。

外国の人に日本語を日本語で教える、さてどのような方法で教えればいい? という疑問がボランティアとして活動するきっかけでした。実際に活動をしてみて、日頃当たり前に使っている日本語を「日本語初級」としてわかり易く説明しながら、自分も楽しく学んでいく面白さにもふれました。

最初に担当した学習者は、ベトナムからの若い企業研修者でした。彼は来日前に1年間、日本語を習っていたので、ほとんど話すことには不自由がありませんでした。しかし、仕事に使うにはもっと実力アップが必要という事で、日本語検定試験を目指し、一緒に半年間受験勉強に励んで、見事合格できました。なんと

言えない達成感で胸がいっぱいでした。

今年に入り、学習者が昨年より倍近いペースで増えています。ベトナムをはじめとするいろいろな国から若者が日本で働きながら日本語を真剣に勉強しています。

様々な国の人たちが日本語サロンで楽しく学習し、助け合いそして友情を深めて行く、なんと素晴らしいことでしょう。彼らからの「私たちは一所懸命に日本語を勉強します、先生、どうぞよろしくお願いします」との嬉しい言葉をしっかり受けとめて、彼ら学習者とともに、地域に溶け込む日本語サロンをめざして活動して行きたいと思っています。

日本語サロン スタッフ募集

地域在住の外国人の方にボランティアで日本語学習のサポートをしてくださる方を募集します。

応募資格: KIFAの「日本語ボランティア講座」又は他機関で日本語教育に関する講座を受講した経験のある成人の方。日曜午後2時~4時、火曜午前10時~11時45分、木曜午後6時~8時のいずれかのクラスに毎週参加できる方。

募集人員: 若干名。応募者多数の場合は抽選。但し選外となった方は待機スタッフとして登録されます。(来年1月末まで有効) 欠員に応じて参加可。

応募締切日: 1月20日(水)必着
クラス見学も可。事前に事務局に問い合わせのこと

応募方法: 電話、またはEメールで国際交流協会事務局へ。
住所、氏名、電話番号と受講終了講座名又は機関名及び参加希望曜日をお伝えください。

■問い合わせ・申込み
河内長野市国際交流協会 (KIFA)
事務局
〒586-0025 河内長野市昭栄町7-1
市民交流センター(キックス)3階
TEL: (0721)54-0002
FAX: (0721)54-0004
Eメール: office@kifa-web.jp

★事務局は新年は5日より
始業いたします。

日本語サロン スケジュール

月	曜日	日曜 Sun.	火曜 Tue.	木曜 Thu.
1月	Jan	17・24・31	12・19・26	14・21・28
2月	Feb	7・14・21・28	2・9・16・23	4・18・25
3月	Mar	6・20・27	1・8・15・22	10・17・24・31

<開講場所と時間>
日曜日 Sundays 14:00~16:00
千代田公民館 2階
火曜日 Tuesdays 10:00~11:45
市民交流センター(KICCS)3階
木曜日 Thursdays 18:00~20:00
ノパティ南館3階 ノパティホール

語学クラブ スケジュール

コース	英語 フリー トーキング	英語 (中級)	英語 (初級)	スペイン語 (初級)	
時間	14:00~15:30	19:00~20:30	19:00~20:30	19:00~20:30	
開講日	1月	9	12・26	5・19	15・29
	2月	13	9・23	2・16	5・19
	3月	12	8・22	1・15	4・18



インフォメーション Information

■世界情勢—ここに注目!2016

世界各地で起きている最新の出来事を、政治、経済、歴史的に分析し、グローバルな視点を養います。

日 程:

第1回 1月23日(土)「見聞—都市伝説ニューヨークと
深刻化する米社会」

講師:戸塚信夫氏 (経営コンサルタント コロンビア大学院卒)

第2回 1月30日(土)「ベトナムの人たちとその周りの良い
環境作りへの取り組み」

講師:前田泰昭氏 (大阪府立大学名誉教授、
ベトナム国家大学特別教員)

第3回 2月6日(土)「トルコ、難民問題を解くカギか?」

講師:堀川徹氏 (京都外国語大学教授 国際言語平和研究所長)

時 間:いずれも14:00~16:00

場 所:市民交流センター3階 大会議室
(2月6日のみ中会議室)

参加費:各1回 会員200円、一般500円

定 員:先着50名

申込み:電話またはメールで



くるまる塾
認定講座

■長野小学校区—斉防災避難訓練

長野小学校区に住む地域の方々と災害時の避難について共に学び、顔の見える関係づくりをします。
体験コーナー、炊き出しコーナーもあり。

日時:3月27日(日)10:00~15:00

場所:長野小学校

対象者:外国の方とそのご家族

申込み:事務局まで



9:30 市民交流センター1階 エントランス集合

10:00 長野小学校にて訓練開始

■日本語で国際交流しませんか!

第11回「日本語サロンオープンデイ」へのご案内

日本語サロンの学習者がスピーチに挑戦します。その後、学習者と日本語での交流のひと時を楽しんでいただきます。

日 時:3月13日(日)14:00~16:00

場 所:市民交流センター4階 イベントホール

内 容:第一部 学習者によるスピーチ

第二部 学習者と参加者の交流タイム

参加費:無料

定 員:先着100名

申込み:電話またはメールで

国際交流協会事務局まで(1月6日から受付)

■国際料理教室 インドネシア編

ガドガドなどインドネシアの家庭料理を教えてください。

講 師:ラリタ アヌパワストゥティさん

日 時:2月6日(土)10:00~14:00

場 所:市民交流センター4階 食工房

参加費:国際交流協会 会員1000円、一般1500円

定 員:先着 30名

持ち物:エプロン、布巾、筆記用具

申込み:電話で国際交流協会事務局まで(1月6日から受付)



■広報活動事業部 スタッフ募集

国際交流協会の広報のお手伝いをしてくださる方を募集します。年4回のKIFAリポートの発行、ホームページの更新、メルマガの発行などを行っています。パソコンの好きな方、文章を書いたり読んだりするのが好きな方、写真が好きな方、大集合!

受付随時。事務局まで電話かメールでお問い合わせください。

ホーンテッドゲーム in イングリッシュ

HAUNTED GAME IN ENGLISH

昨年10月、ラブラリーホールのハロウィーンイベントで、子どもたちと英語でゲームをするコーナーを担当しました。本格的な扮装をこわがる子もいましたが、こわいもの見たさでしょうが、

チケットはすぐに売りきれの大人気。子ども

たちは、外国人講師の英語の指示

を聞きながら、ハロウィーン気分満

載のゲームに取り組みました。子

どもだけではなく、外国人講師も

スタッフも童心にかえってモン

スターなひとときを楽しみました。



コース	中国語 (中級)	中国語 (初級)	中国語 (入門)	韓国語 (初級)	韓国語 (入門)	
時間	19:00~20:30	19:00~20:30	14:00~15:30	13:00~14:30	10:40~12:10	
開講日	1月	8・22	15・29	6・20	13・27	13・27
	2月	12・26	5・19	3・17	10・24	10・24
	3月	11・25	4・18	2・16	9・23	9・23

日本での文化体験

洪 佩伶 (台湾)



皆さんこんにちは、私は洪佩伶(ホン ペイリン)と申します。2015年5月台湾から日本へ来て河内長野市に定住しています。主人は韓国人で、日本の会社で就職して、大阪に十五年ほど住んでいました。二人とも日本の文化と日本料理が好きです。

日本で引越越し挨拶の文化を聞いたことがありましたが、二人は河内長野市へ引越しする時、近所の人にケーキをあげました。その後、新しく引越して来た世帯が増えて、うちも引越し挨拶のプレゼントをもらいました。でも、全部日用品の洗剤やラップ等です。へえ?これは普通ですか?うちが食べ物をあげたのが間違いだったのかなあっと感じました。

以前、生活マナー講座に参加して、特に日本の見舞い文化

について、大きな相異点を勉強しました。日本人は病気になった時の様子が良くないので、あまり見せたくないですが、台湾では病気になった時、親友と知人が見舞いに来たら、とても嬉しいです。それは人情味と言って、自分が一人ではなく、早く元気になりたい気持ちも強く持っているからです。

さらに、日本のごみ分類の方式も地方によって違います。二年前留学で新大阪に住んでいた時、ごみは種類に関わらず、毎日出しても良かったですが、河内長野市では種類によって、出す日が違い、台湾と同じです。でも、日本でごみは所定の場所に出して、朝8時から9時半までの間にごみを集める車が来て収集しますが、台湾では夜に場所によって決められた時間に(10分くらい)家からごみを持って行って、ごみを集める車を待っています。それは台湾の”ごみは地に置かない”という環境衛生政策です。

今はKIFAの日本語サロンで日本語を勉強しています。いろいろな日本文化に関する疑問があれば、先生に聞くとよく理解できて、本当に外国人にとっても役に立ちます。KIFAの日本語サロンの先生たちにお世話になりまして、有難う御座います。これからも日本語の勉強を頑張り続けて行きます。



ネパール大地震被災者にシェルターを!

昨年8月におこなったネパール大地震被災者支援チャリティ時の義援金は、ネパールの学校再建支援に送りました。その後集った義援金を、以前河内長野に来られた事のあるフルート奏者ラトナさん(ネパール、カトマンズ在住)を通じて昨年10月に送りました。ラトナさんは目の不自由な方々を支援する団体で活動しています。

お礼の手紙が届きました。

「うれしい事に、いただいた義援金であと2週間ほどでシェルター2軒の建設が終わりです。シェルターに入る人たちはKIFAの皆さんに本当に感謝しています。シェルターのひとつは、盲目の夫婦とその息子が住みます。夫は学校で働き、妻は主婦で、息子は4年生です。もうひとつのシェルターには盲目の老人が住みます。彼は病気のため40歳を過ぎてから視力を失いました。妻はすでに他界しています。結婚した息子がいて大工として働き、父親の面倒を見ています。ネパールは冬の季節を迎えテント生活は非常に大変です。さらにシェルターを建てたいと思っていますので、可能であれば引き続きご支援をお願いいたします。」



2015年11月16日 ラトナ

編集後記

ヨーロッパや中近東が、最近特に危険な様相で、そのあたりへの旅行を控える方もでているとか。目をアジアに向けても、近隣の国々との間で、日本も他の国々も様々な問題を抱えています。

そんな中で、昨年春から、アジアからの留学生に英語を教える仕事に就く事になりました。現在教えている学生の国籍は、ベトナム、中国、韓国、インドネシア、ネパール、フィリピン、モンゴル、台湾、トルコと多彩です。そして、国籍の違う学生同士が話す時、彼らの共通語は日本語です!若い彼らには国が抱えている問題なんて、どこ吹く風。国籍の壁を越え、互いに学生生活を楽しんでいます。帰国するにしても日本で就職・進学するにしても、今のこの経験をこれからの人生に活かして欲しいと願っています。

gateauchocolat

無料
メールマガジン
配信中!

KIFAの楽しいイベントや情報を、いち早くお知らせします。お申し込みは、事務局または、KIFAホームページから。

<http://www.kifa-web.jp/>